

う  
羅しん  
針ばん  
盤浦添市立浦添中学校  
第 1 号  
進路担当発行

新学期がスタートして、1ヶ月が過ぎようとしています。

生徒の皆さんは、4月当初この1年を「いろいろなことに挑戦したい」「勉強と部活動を両立させたい」「志望校に合格したい」など、自分の目標を立ててスタートしたことでしょう。目標を達成



いいスタートを切ろう

し笑顔に満ちあふれ、さらに次の目標に向かって1年後の「生き生きしたステキな自分」をイメージして、これからの一日一日の過ごし方を充実したものにしていきましょう。

今年度からは、県立高校の入試制度が大きく変わり、新しく「特色選抜」と「一般選抜」の二種類に分けて行われます。「特色選抜」での受検を希望する生徒は、「特色選抜」を受ける高校で面接・実技検査等を受検する一方、「特色選抜」で合否が判明する前に、「一般選抜」に出願した学校で学力検査・面接受検を行う必要があります。詳しくは、裏面に県立学校教育課が作成した資料を載せておきますので、ご確認ください。学校推薦ではなく生徒が自ら出願する点、学力検査を全員受検する点などがこれまでの「推薦入試」と「特色選抜」では異なっています。

ただ、すべての「推薦入試」が無くなることが決まっているわけではありません。私立である興南高校や沖縄尚学高校、県外私立高校や国立である沖縄工業高等専門学校、専修学校高等課程であるKBC未来高等学校などでは、学校推薦の必要がある「推薦入試」が行われる可能性があり、その場合、下記の校内推薦基準を満たし、学校長の許可を得てから出願することになります。中学校3年間の学校生活について審議されることになるので、入試直前で慌てることがないように、下記の校内推薦基準をしっかりと確認しておきましょう。

### 令和6年度 高等学校推薦入試に関する校内基準（案）

高等学校の募集要項の推薦資格を満たしている者で、原則として本校の「生徒心得」を守り、下記の(1)～(4)の項目すべてに該当する者とする。

※まだ案です。正式に決定後、再度お知らせ致します。

- (1) 生活態度（身なり、言動等）や学習態度が良好な者・生徒指導上の問題行動がない者。
- (2) 諸活動（学級活動、委員会活動、生徒会活動、部活動等）において積極的に活動している者。
- (3) 3年間、無断の欠席、欠課がなく、朝の遅刻は年間を通して3回程度とし、また、3年生になってからの授業の遅刻が3回以内であること。

※ 通院等の届け出をおこなった遅刻・欠課・早退・欠席は考慮する。

- (4) 原則として、3年間の評定に1がない者。

### 【 知っておくと役立つ話 職業調べ 】

日本における職業の数はどれくらいあるのでしょうか。厚生労働省の職業名索引（2022）によれば、2万7,383種あるとされています。村上龍『新13歳のハローワーク』（幻冬舎、2010年）では、593種の職業の解説がされています。13歳のハローワーク公式サイト（<https://www.13hw.com/home/index.html>）の中学・高校生の人気職業ランキングでは、プロスポーツ選手、イラストレーター、公務員、外交官、警察官などが上位にきています（2024年3月時点）。あなたのなりたい職業は人気職業ランキングの何位に位置しているのでしょうか。調べながら、世の中に色々な職業があることに気付けると良いと思います。

さて、下の職業がどんな職業か知っていますか？興味をもった人は、ぜひ調べてみてください。

- ① ひよこ鑑定士      ② フォーチュンクッキーライター      ③ レゴマスタービルダー      ④ 歩荷

# 推薦入試から特色選抜入

県立学校教育課

## 「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学びに向かう力の育成と中学校までの基礎学力の確かな定着を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。

## 現行の推薦入試の課題

沖縄県高等学校入学者選抜制度のあり方について(報告書)より  
平成30年12月 沖縄県立高校入学者選抜制度改革に関する検討委員会

◆ (現行推薦入試制度は) 早期合格の手段としての傾向が強く、本来の趣旨が活かされていないとの懸念

◆ 推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下が見られ、一般入試に向けた学習環境に影響を及ぼすこともあり、義務教育段階の学習内容の確かな定着に課題

◆ 各中学校によって推薦基準が異なることによる不公平感の指摘

## 「特色選抜」の基本方針

### ① 生徒が自ら出願できる

- 学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す

### ② 生徒の特性や個性を伸ばす

- 受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

### ③ 学力検査を全員受検する

- 義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。

### ④ 受検機会をこれまでどおり確保する

- 現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。

### ※ICT活用を推進する

- 出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。

スケジュール  
(予定)

取組事項

年度(学年)

R3(小6)

R4(中1)

R5(中2)

R6(中3)

「育成したい生徒像」の作成・配布

説明会 ← 生徒・保護者

実施要項決定

説明会

← 学校等関係者

説明会

← 受検希望者

R7  
2月  
実施

# 特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -

県立学校教育課

